

環境守る廃棄物処理



エコクリエイトの鈴木勇吉会長(左)と環境政策研究所の松岡力雄CEO(三芳町竹間沢)

環境に配慮した産業廃棄物の適正処理を推進する。併設の「環境政策研究所」はそのシンクタンクとして、排出事業者へのコンサルティングや、行政からの受託調査など企業から行政まで幅広い

- ・所在地 入間郡三芳町竹間沢728の1
- ・設立 1997年2月
- ・資本金 3200万円
- ・従業員数 13人
- ・売上高 4億2000万円(平成17年度実績)
- ・事業内容 産業廃棄物処理、廃棄物行政からの受託調査、排出事業者へのコンサルティング、食品リサイクル・環境ファイナンスコンサルティング

エコクリエイト(三芳町)

排出業者の責任も訴える

ニーズに込え、社会全体で環境を保護する廃棄物処理・リサイクルシステム構築のために貢献している。近く、PCBやアスベストの特別管理産業廃棄物収集運搬業をスタート。食品リサイクルのコンサルティンクも手掛けた「環境を整える」の融資を希望する銀行を対象にしたコンサルティンクに乗り出す。

創業者の鈴木勇吉会長(左)と環境政策研究所CEO(最高経営責任者)の松岡力雄さん(右)は全国各地を回って企業や行政関係者を対象に講演会を開き、環境を守るための排出事業者側の社会的責任などを訴えている。

■大蔵官僚から産廃処理業を起業
鈴木さんは札幌市出身。中央大法学部卒業後、大蔵省理財局に入省し、その後、任意団体の全国産業廃棄物連合会を設立。その後、法律会計事務所勤務を経て、一九六二(昭和三十一年)年、足立郡足立町(現志木市)の議員選挙に出馬し当選。七三(同四十八)年、エコクリエイトの前身「カンセイ」を立ち上げた。「経済が上がっていきば、ごみと環境は切り離せない問題になる」と読んだ。社名は、理念に掲げて命名した。当時はまだ、産廃処理業への偏見が支配的だったという。鈴木さんは「なぞ」と環境政策研究所CEO(最高経営責任者)の松岡力雄さん(右)は全国各地を回って企業や行政関係者を対象に講演会を開き、環境を守るための排出事業者側の社会的責任などを訴えている。



主催するイベントなどで掲載し、お申し込みください。TEL: 03-861-8594